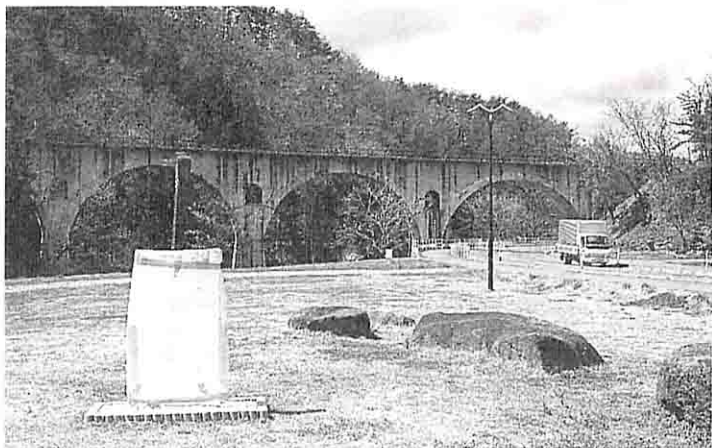


めがね橋 恋人の聖地に



恋人の聖地に認定されたJR釜石線のめがね橋。左手前がモニュメント＝遠野市宮守で

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」のモチーフになったともいわれている遠野市宮守のJR釜石線の「めがね橋」（宮守川橋りょう）が、非営利法人・地域活性化支援センター（静岡市）から「恋人の聖地」に認定されると16日、同市が発表した。市は20日にモニュメントの除幕式を行い、デートコースの設定など新たな観光スポットとして整備していく。

恋人の聖地選定は、全国の観光地を対象

遠野の新たな観光スポットに

市が20日、モニュメントの除幕式

に、カップルの愛の成就や少子化対策を側面から支援するため、同センターが06年に始めた。今回を含め、東京の六本木ヒルズ展望台や岩手町の「石神の丘美術館」など78カ所を認定している。

めがね橋は、1915年に造られた鉄筋コンクリートのアーチ橋で、賢治が鉄橋を通る夜行列車からイメージを膨らませたともいわれている。年末年始のライトアップなどロマンスチックな景観が評価された。

モニュメントは橋の東側にある「道の駅みやもり」の緑地広場に建てられた。午後6時半からの除幕式では橋もライトアップする。10年3月で閉校する県立遠野高情報ビジネス校の生徒34人が、将来の恋人にあてた恋文を道の駅内に預ける伝達式も行う。恋文は1年以降ならいつでも返してもらえる。

【鬼山親芳】